

第2回 現場にアタック

栄養科を知りたい!

入院生活を快適に過ごしていただけるよう 個人対応に努める栄養科に伺いました



病院に入院して、患者さんが自ら病気を治すためにできる努力があると思えば、それは食事をしっかりと摂ることでしょう。

病気がならないために普段から皆さんが気をつけていることも食事だと思えます。

密接な関係を持つ「食」と「病」について知りたいと思ひ、今回当院栄養科の管理栄養士にその辺について伺ってきました。

知委 知りたい委員会(以下、知委)早速ですが、大船中央病院らしい栄養科の特色がありましたら教えてください。

管理栄養士細矢友紀子さん(以下、細矢) 栄養科で重要なこととして心掛けているのは、入院患者さんへの個人対応です。たとえば禁止の食品やアレルギーの個別対応はどこでもされていると思うのですが、入院患者さんのこの食品は食べられないといった個人的嗜好にもできる範囲で対応したり、食欲が落ちたときの食事の出し方を考えてメニュー全体のボリュームを抑えて、届かない栄養分を栄養があるプリ

細矢 入院食は主治医からの指示書である食事箋というのが電子カルテを通して流れてきて、それに基づいて栄養科で「食札」というものを出します。食札には、食事の種類だとか禁止の食べ物などが書いてあり、その情報は主治医からの指示のもと常に内容を更新して、食事の指示が実際に調理する方たちに届くようになっていきます。たとえば、ある入院患者さんに生活習慣病があれば、それに合った食事のオーダーが主治医から来ます。あとは食品の形態ですね。一口大にしたり、やわらかいおかずにしたり、嚥下困難(飲み込むことに問題がある)の方にはとろみをつけて飲み込みやすくした食事を提供しています。主治医から栄養量の指示と形態の指示が来て、それに沿った食事を、それぞれの方に提供

知委 個人対応の詳しい流れについて教えてください。

細矢 食札通りにおかずが入っているかどうか委託給食会社のスタッフ、栄養士がダブルチェックした後、栄養科の管理栄養士が最終チェックをし、患者さんに提供しています。過去、入院患者さんにまつわることで印象に残っているものはありますか?

細矢 最初食べられなかった食事が、治療の経過や本人の訓練によって食べられるようになった患者さんは、栄養科の人間だけでなく、病棟の看護師、リハビリ等のメンバーにとっても深く印象に残っています。その方は、お腹のチューブから直接胃に栄養剤を入れる栄養補給を行っていたのですが、治療の進み具合から主治医、看護師、リハビリ担当者などで話し合った結果、食事そのものをチューブから直接入れることになりました。

知委 食事をミキサーにかけて注入するのですが、その際、食事の香りが漂います。その香りがなんのおかずなのかをスタッフやご家族が患者さんにかかっている、少量を口から食べる

リレーコラム 想いはつながる



大船中央病院は平成22年4月から社会医療法人になりました。

でも医療法人の前に付く「社会」とは何でしょうか?

「大船中央病院を知りたい委員会」ではこの「社会」という言葉(概念)を職員の間で一緒に考えていきたいと思ひました。

世の中には、社会とかソーシャル、という言葉がだかさん耳にすると思ひます。そこでこれらのキーワードを私たちがそれぞれが理解している範囲で説明してみよう、そこから「社会」という単語を考えてみたいと思ひます。ただし、あくまでも主観です、あしからず。

リレーコラム 想いはつながる

第2回 ソーシャルワーカー

新井 智美

今回は「ソーシャルワーカー」という職種から社会(ソーシャル)について考えてみようと思ひます。まず「ソーシャルワーカー」とは、「人々の福利(幸福)の増進を目指して社会に働きかけ、福祉の立場から人間社会における問題の解決を図り、人々のエンパワーメント(自らの人生において自己決定する力)を促す。」という意味です。そして「ソーシャルワーカー」は、それを実践する社会福祉の専門職ということになっていきます。個人個人の主体性を尊重して、その人自身が問題解決をしていけるように側面的に援助する役割を担うということ。ソーシャルワーカーは「その人が本来持っている知恵や経験、人とのつながりなどの日常生活を営む力を取り戻し、生活していけるように援助すること。家族や地域、行政の力をうまく組み合わせて(社会)に戻る後押しをする」ということではないかと思ひます。

人は何らかの形で必ず「社会」と関わっています。家族や会社組織、地域の町内会などへの参加も社会参加と言え

す。一人暮らしの人でも「地域」という社会に属し、何らかの影響を受けたり、与えたりしています。医療ソーシャルワーカーは、そのような様々な社会環境で生活してきた人が、傷病などによって受けた障害や困難な事柄について、公的制度や地域社会、家族などの社会資源を組み合わせて問題解決への相談、援助業務を行っています。

院内においては主治医、看護師との連携を中心に、在宅で必要な医療体制、生活環境について話し合つて退院調整を行ったり、患者さんに適した施設の選定について考えたりしています。また院外においては、在宅サービスを受けながら自宅へ戻る方や、身体状況から施設利用が適当と思われる方、経済的支援が必要な方などについて市(区)役所の担当者や、ケアマネジャー、福祉施設の相談員など、福祉を担う関係機関との連携をとりながら、その人が安心して療養できる環境作り、生活の場へ戻すための援助を側面的に行います。まさに、社会との橋渡しの役割を担うのがソーシャルワーカーということなのだと思います。

そして、このような連携の中でソーシャルワーカー自身も社会から多くを学び、自己研鑽に結びついていくのだと感じて

知委 第1号からの定型質問になっているのですが、管理栄養士を目指そうと思つたきっかけを教えてください。

細矢 高校生くらいまで、食事について深く考えたことはなくて、なんにも考えずに食べていたんです。ちょっと体調を崩した時に、ある方から「ちゃんと食べているの?」と聞かれて、その時に初めて「栄養」ということを意識して考えました。その頃は、今ほど栄養についてメディアで取り上げる時代ではなかったのですが、「からだ」と「栄養」が強く結びついていないと、きちんと栄養を摂っていないことで、病気になるということを知って、面白そうだなと思ひました。それがきっかけですね。管理栄養士といつてもいろいろあるんです。料理が好きだからとか、こ



知委 本日は貴重なお時間を割いて頂き、ありがとうございました。

細矢 どもが好きだから給食がやりたいとか。私の場合は「疾患と栄養」に興味を持ったので、病院に就職したんです。

千里の道も一歩から 似顔絵作家は誰でしょう?

大船中央病院のホームページを見て、一番の特徴は、通常は名前と略歴だけで味気ない医師紹介が、似顔絵入りで紹介されている点だと思ひます。▼この似顔絵、なんと大船中央病院の職員が描いているのです!

▼以前から載せているイラストはプロにお願いして描いてもらったものですが、最近の似顔絵は職員が描いたものなのです!▼実は新しい似顔絵、他の病院からの評判も良く、今まで2件の問い合わせがありました▼2件の病院とも職員が描いたことを伝えると、とても驚いていました。文字だけでは伝わらない温かさに満ちた医師紹介だと皆さんも思いませんか?

当院ホームページに配慮した医師紹介 プライバシーに配慮した医師紹介

大船中央病院のホームページを見て、一番の特徴は、通常は名前と略歴だけで味気ない医師紹介が、似顔絵入りで紹介されている点だと思ひます。▼この似顔絵、なんと大船中央病院の職員が描いているのです!

▼以前から載せているイラストはプロにお願いして描いてもらったものですが、最近の似顔絵は職員が描いたものなのです!▼実は新しい似顔絵、他の病院からの評判も良く、今まで2件の問い合わせがありました▼2件の病院とも職員が描いたことを伝えると、とても驚いていました。文字だけでは伝わらない温かさに満ちた医師紹介だと皆さんも思いませんか?

前号のことなど 編集後記

前号では、医局での取り組み「ペットボトルキャップを集めて世界の子どもにワクチンを届けよう」を掲載し、多くの反響を頂きました。医局には各病棟などから、ぞくぞくとキャップが届いているそうです。参加してくれた皆さんに感謝します。

中央検査室にも少しずつ機械が入り始め、あとは本格稼働を待つのみといった感じがします。11月に迫った新電子カルテシステムと共に検査科の新システムも大注目ですね。

次号の内容はまだ未定ですが「大船中央病院を知りたい委員会」が、お邪魔した時はどうぞよろしくお願ひします。

細矢 確かに、今は健康ブームでいろんな